

自昭和十九年七月五日

中野本島防衛部作戦準備

發病年月日

昭和十九年七月二十日

發病場所

中華民國河南省武陟縣何營

發病狀況

本症昭和十九年七月二十日河南省武陟縣何營附行行動中發變

本症

腹痛上共下痢一日四五行ヲ訴フルモ之ヲ月シテ繁劇ナル故ニ備行動務或ハ南西諸島轉進ニ伴テ輸送業務ニ從事セシム因テ諸症狀悪化シ據テ八月二十日受診爾來入室セシ加療ニ努メタルモ症狀意ノ如ク緩快セズ隊治ニ不適ト認メ送院セシム
本症誘發原因ヲ探究スルモ本人ハ生來強健ニシテ者思ハラズ尚血族的ニ於テハ何等遺傳的疾患ヲ認メズ頑健ナル身體ヲ以テ入隊セルモ本業基本教育間ニ在リテハ主トシテ敬言備勤務ニ從事シ作戰下部隊主力追及於テハ火熱酷暑或ハ雨中泥濘ト連日連夜

本症

繁劇ナル行動ヲ續行中何營附並ニ於テ前記ノ症狀ヲ訴フルモ遠隔地ニ完全ナル治療ヲ受クル能ハズ依然行動ヲ續行セリ 追及後ニ身體ノ疲勞ヲ癒ス暇ナリ今次部隊ノ輸送業務ニ從事長途列車並ニ船舶輸送ニ於テ特ニ船内ノ採光換氣共ニ不良ニシテ蒸熱ヲ毎日起居ニ伴ハテ収容シ脚ヲ屈伸スル等ノ自由ナラザル狀態ニシテ睡眠又竟、如クナラズ給養モ亦良好ナラズ以上ノ如ク非衛生的感作將又任地到着後、氣候風土ノ激變等累次過勞集積シ次第ニ身體ノ抵抗カヲ減弱シ遂ニ本病ヲ誘發セルモ之ニシテ之眞ニ公務ニ起因センモノト認ム

右證明ス

昭和十九年十月六日

陸軍中佐 磯崎 磯崎
陸軍醫官 田口 彭

第六師團獨立步兵第三大隊附

現住籍地

病歷書

一 病名
 二 年月日
 三 場所
 四 原因
 五 經過

第六十二師團獨立步兵第二十二大隊步兵砲中隊
 陸軍上等兵 三 龍 安 雄
 榮養失調症
 昭和十九年七月二十日
 中華民國內政部武勝縣如何營
 別紙事實證明書記載如何營

發病狀況 本病、昭和十九年七月二十日河南省何營、於行勅中程度、腹痛、下痢、
 一日、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

病歴書

顔貌憔悴、心音微弱、呼吸不純、肺野、呼吸音銳利、シテ腹壁、弛緩、凹シテ柔軟ニシテ腹鳴アリ
 膝蓋及アヒレ、反肘、着シテ、武退ス、依テ糖液ヒクミンB液、注射ヲ行フ
 十一月七日、至十一月十三日、體温三六、八度ヨリ漸次下降、三六、〇度
 以下、ナル水様下痢、一日、三乃至六行、食慾不振、ニシテ顔貌憔悴、シテ衰弱ノ度、加ハ全身ノ皮
 膚、乾燥シ、弾力ニ乏シク、四肢筋肉、弛緩シ、柔軟トナル此、間糖液ヒクミンC、注射ヲ行フ
 十一月十四日、發病狀態及入院以來、經過ヨリ、病名ヲ營養失調症ト決定シ、病症増進、報テ發
 病前處置ヲ持續セリ
 十一月十五日、午前七時、全身衰弱甚ク、顔面蒼白、口内特ニ舌口唇子乾燥シ、口唇手指尖端、紫
 藍色ヲ呈シ、意識濁水シ、昏眩狀態ニ陥ル、依テ危馬、報テ發ス
 同日午後四時、脈膊細少、微弱ニシテ、結帯シ、呼吸ハ淺表トナル、四肢厥冷、力ヲ盡シ、諸種、處置ヲ講
 セシモ効ナク、呼吸、脈膊、心音停止、瞳孔散大シ、午後四時三十分、遂ニ死亡ス
 死亡年月日 昭和十九年十一月十五日
 死亡場所 候也
 昭和十九年十一月十五日 沖繩陸軍病院

陸軍軍醫九尉 目源 逸舟
 沖繩陸軍病院附

證明書

本籍地
現住所



所屬部隊號 第六十二師團獨立步兵第二十二大隊步兵砲中隊
 徵集 全 昭和十八年 官等級氏名陸軍一等兵 三瓶安雄

一病名 營養失調症

二決定(發病)年月日 昭和十九年十一月十四日

三公務起因名、理由

本病ハ別紙所屬部隊長調製事實證明書、勤務
 二依リ昭和十九年七月二十日中華民國河南省何營附
 近ノ警備勤務或ハ南西諸島轉運ニ伴フ輸送業務
 從事中發病シタルモノト認ム

右證明書

昭和十九年十一月十四日

沖繩陸軍病院兵隊軍醫中佐 廣池 文吉